



2023年

8月26日 土

27日 日

会場：西条市地域創生センター
調査地：西条市千町地区

西条高校×京都大学
サイエンスキャンプ2023

実践的フィールドサイエンスを知る 里山の暮らしと生物多様性

環境問題に対する科学の知見や技術は日進月歩で進化していますが、それらの成果をいざ現実社会へ還元しようとする、実情と乖離がありうまくいかない…というケースがしばしばみられます。科学の成果を現場に還元するためには「地域を知る」ことが肝要です。このサイエンスキャンプでは、人の暮らしや生物資源に焦点を当てながら、実践的なフィールドサイエンスを学びます。社会で実際に起こっている問題の解決に科学がどう貢献できるのか、一緒に考えましょう。

テーマ：里山の暮らしと生物多様性

- 里山とは、ひとによる持続的な資源利用の結果形成された、森や草原、ため池などを含む空間です。ひとの暮らしの変化によって、里山を形成する景観は一つ、またひとつと失われており、今では里山の荒廃が大きな環境問題になっています。人と自然がバランスよく暮らしていくためにはどうしたらよいのでしょうか？
- 地域にある資源（自然資源や地域知）を見つけ、知り、それらを地理情報システム（GIS）を使って地図の形で可視化する方法を学びます。地形、土地利用、歴史、住民の証言など、さまざまな地域情報を科学的目線で紐解きながら、持続的な地域社会の発展のあり方を考えてみましょう。
- 里山には、地形や気候条件などにより、その土地に適した動植物が生息しています。これらは長い歴史の中で人間と共存し、共に上手に共生してきました。“その生き物がそこにいる理由”をフィールド調査を通じて、科学的に考えてみましょう。

DAY 1

8:45 地域創生センター集合・2階にて受付

9:00 開講式

- ・開会あいさつ、概要説明
- ・参加者自己紹介

9:30 サイエンスキャンプ特別レクチャー

- ★西条高校×京都大学 ともに考えるサイエンス《講師：西前 出》
- ★変わりゆく日本の里山と地域資源《講師：時任 美乃理》

10:30 サイエンスキャンプのマテリアル&メソッド

- ★グループワークの進め方《講師：時任 美乃理》
- ★地理情報システム（GIS）の基本～データの種類と活用事例～《講師：浅野 悟史》

11:30 昼食（弁当）

----- 休憩 -----

12:30 フィールドワークに向けた事前準備ワークショップ

- ★里山の暮らしと生物多様性に関するブレインストーミング
- ★千町の昔と今～GISを使って土地利用の変化を観察しよう～
- ★グループテーマの決定&調査項目づくり

15:00 グループテーマ紹介・ディスカッション

16:00 ワークショップ終了

----- 休憩・入浴 -----

18:00 夕食・片付け

19:30 ワークショップ振り返り、レクリエーション



DAY 2

7:00 起床、朝食準備

7:30 朝食

8:30 西条市千町へ移動

9:00 千町にてフィールドワーク開始

11:30 フィールドワークを終了し、地域創生センターへ移動

----- 昼食・休憩 -----

13:00 グループに分かれて調査のまとめ、発表準備

15:30 発表会&ディスカッション

16:00 閉講式（講評、修了証授与）

16:30 解散



京都大学大学院 地球環境学堂 地域資源計画論研究室

教授 西前 出

准教授 浅野 悟史

京都大学 農学研究科 森林科学専攻 森林利用学研究室

助教 時任 美乃理

その他、サポートメンバーとしてそれぞれの研究室から研究員や大学生・院生が参加予定！

注意事項

- ・アレルギーなどがある場合には必ず事前にお知らせください。
- ・服装や持ち物など、その他の詳細は後日配布する参加のしおりに掲載しますので、そちらを必ずご確認ください。



西条市地域創生センター
（愛媛県西条市ひうち1-16）
<https://goo.gl/maps/mL8mCwqvhTT72DyCA>



愛媛県西条市千町
<https://goo.gl/maps/FLcHuDLU5NXvXzfC6>